

令和8年度の具体的な学校経営目標・計画（年度当初）

＜評価基準＞			岡山県立瀬戸高等学校					
A：全て達成			B：全てのうち半数程度達成			C：Bに達しない		
学校経営目標	担当	具体的計画	現状及び今年度の達成基準	中間達成状況	評価	最終達成状況	評価	総合
①授業改革をより一層進め、ICT機器を効果的に活用することなどにより、主体的・対話的で深い学びを実践することで、授業が自分事となる学びを実現する。 (尚学)	教務課	・校内の授業公開週間を中心に、ICT機器の効果的な活用等により、生徒につけたい6つの力の視点に立った、生徒自らが主体的に学ぶ授業づくりを実践する。	・学校改善アンケート(生徒対象)の「授業や補習に積極的に取り組んでいますか」の質問項目において、肯定的評価90%程度(前年度89%、前々年度82%)を維持する。 ・学校改善アンケート(教員対象)の「PCやプロジェクターなどのICT機器を必要に応じて活用し、授業改善に努めていますか」の質問項目において、肯定的回答が90%以上(前年度91%、前々年度83%)になる。					
	進路指導課	・生徒が自走できるように、授業やひたぶるタイム等、主体的に取り組む活動を通して、確かな学力と考える力・表現する力を育成できるように計画・立案・運用し、進路保障の一助とする。	・普段の授業時間の中で、生徒の主体的活動が展開される場面を意識的に設ける。 ・キャリアデザイン室を中心に、生成AIなども活用しながら学びを自走させクリエイティブな生徒を育てる授業改革を推進する。 ・各学期で多様な授業実践を公開し、意見交換を行う。					
	1年次	・授業を大切に、予習・授業・復習のサイクルを確立し、学習習慣を習得させる。 ・提出物を必ず提出させる。	・学期毎の振り返りシートによる調査「授業を第一に、予習・復習を徹底的にすることができましたか。」の質問項目において、肯定的回答が70%以上になることを目指す。 ・学習実態調査の家庭学習時間が1週間平均で3時間確保できることを目指す。 ・学校改善アンケート「宿題や提出物は期限を守って提出できていますか。」の質問項目において肯定的評価が70%以上になることを目指す。					
	2年次	・授業を学習の中心とし、予習・復習をしっかりと行い、学習の質を向上させる。 ・学習実態調査を活用し、学習内容や方法を見直す機会を設ける。 ・進路実現に向けて、面談や振り返りの機会を通し、学習計画の立案・実行・改善を行う力を育てる。	・学期毎の振り返りシートによる調査「授業を第一に、予習・復習をしっかりとすることができましたか。」の質問項目において、肯定的回答が70%以上になることを目指す。(1年3学期50.0%) ・学習実態調査の家庭学習時間が年間を通して増加することを目指す。(昨年度1年1月1週間平均112.8分)180分以上の生徒が25%以上になることを目指す。(1年1月11.0%)					
	3年次	・授業を軸に、予習・復習を大切にするとともに、進路目標の達成のための自走した家庭学習が行えるように指導する。 ・生徒の進路実現のために「なすべきこと」を考えさせ、行動できるよう支援する。 ・課題・提出物を必ず提出させるよう指導する。	・学期毎の振り返りシートによる調査「授業を第一に、予習・復習をしっかりとすることができましたか。」、「進路実現のためになすべきことを考え、行動できましたか。」の質問項目において、肯定的回答がそれぞれ80%、70%以上になることを目指す。(前者の質問について、2年3学期75.2%) ・学習実態調査の家庭学習時間が、平日・休日あわせて1日平均3時間確保できることを目指す。(2年1月117分) ・学校改善アンケート「宿題や提出物は期限を守って提出できていますか。」の質問項目において肯定的評価が80%以上になることを目指す。(昨年度2年78.1%)					
教育DX	・昨年に引き続き新任・転任教員向けに生成AI活用ガイダンスを実施し、対象者に最新のデジタル技術と授業事例の共有を図る。 ・希望者を対象としたICT活用ガイダンスを実施し、各教員が授業においてICT機器やデジタル教材を効果的に活用できるよう支援する。	・新任・転任教員向け生成AI活用ガイダンスの受講率を90%以上とする。 ・ICT活用ガイダンス参加希望者の授業でのICT機器利用が70%以上となることを目標とする。 ・各教科の授業で、「生成AIを授業で活用する」または「数理データサイエンスの能力向上を目指す授業」について取り組み、授業計画および実施状況の記録や共有体制を整備する。						

②生徒が主体的に行動し、自らの成長を実感できる取組を進め、将来は自立した社会の構成者として活躍する素地となる、より良くなるようとする力の育成を行う。 (自主)	教務課	・生徒主体のオープンスクールを企画・運営することで、生徒の主体性を養うとともに、生徒による本校の魅力発信に繋げていく。	・生徒主体のオープンスクールを継続し、生徒による本校の魅力発信に挑戦する。 ・オープンスクールの中3生参加者数を270名以上にする。学校説明会50名以上にする。(前年度OS参加者 中3生246名、中2生130名、学校説明会参加者 中3生23名、中2生6名)					
	生徒課	・生徒会主催の学校行事で、生徒主体の活動を実践するとともに、生徒自身が計画・運営し、全校生徒で行事を盛り上げることができるよう支援する。 ・生徒主体で取り組む瀬戸高祭にするとともに、会場変更した瀬戸高祭2年目を成功させ、さらに発展させる。 ・校則の改訂などについて、検討を重ね生徒主体で運営する生徒会をめざす。	【現状】 ・昨年度は瀬戸高祭の会場変更に伴う不具合(音響・狭さ等)に関する意見が多数寄せられた。2年目の今年度は可能な限り課題解決に取り組む必要がある。 【達成基準】 ・瀬戸高祭アンケート結果 = 全体的に「よい」の数値で90%以上の満足度(前年度91%) ・学校生活アンケート結果 「生徒会活動」の項目 = 生徒・教員75%以上保護者70%以上(前年度生徒88%教員91%保護者88%)					
	進路指導課	・個々の進路実現に向けて、様々な活動に自走できるように、情報や機会の提供を面談・研修会などで進めていく。 ・新しい入試制度に対して、最新の情報収集と情報提供を行う。	・面接週間時の内容ポイントを学年団で共有し、共通理解を図りながら充実した面談が出来るようにする。 ・3年次生はひたぶるタイム等の成果を踏まえ、個人の進路選択について視野の拡大・深化をはかり、個の学びに4月当初の早い時期から繋げていく。 ・進路検討会等の機会を利用して、教員研修の時間を学期に1回以上持つ。 ・学校改善アンケート(生徒)における進路情報提供に関する満足度を85%以上にする。(一昨年度85%、昨年度87%)					
	厚生課	・保健委員会や環境・防災委員会の充実した活動を実施する。 ・生徒自らが、健康や防災に関心を持ち、様々な体験を通して学んでいく姿勢を育てる。	・各種委員会が、健康や防災について校内で啓発活動を行う。 ・歯科治療率を県平均値の50%目標として向上させていく。 ・思春期後半の生徒の健康意識を高めるLHRを計画する。					
	1年次	・部活動や学校行事に主体的に参加させる。 ・探究活動などを通して、地域や社会、世界に関心を持たせ進路意識を育成する。	・学期毎の振り返りシートによる調査「部活動や学校行事に主体的に参加することができましたか。」の質問項目において、肯定的回答が70%以上になることを目指す。 ・学校改善アンケート「部活動、各種委員会活動、瀬戸高祭、球技大会など生徒会活動に積極的に取り組んでいますか。」の質問項目において肯定的評価が70%以上になることを目指す。					
2年次	・大いに学び、大いに楽しめるよう部活動、学校行事に全力で取り組ませるとともに、自分の役割や課題を意識し、自ら考えて行動できるよう支援する。 ・探究活動等を通して、人や社会との関わりを深め、知的探究心を高めるとともに、色々なことに挑戦する姿勢を育成し、進路意識の向上を図る。	・学期毎の振り返りシートによる調査「学校行事に全力で取り組むことができましたか。」の質問項目において、肯定的回答が90%以上を維持する。(1年3学期96.7%) ・学校改善アンケート「部活動、各種委員会活動、瀬戸高祭、球技大会など生徒会活動に積極的に取り組んでいますか。」の質問項目において肯定的評価が90%以上を維持する。(1年時90%)						
3年次	・高校生活の集大成として、部活動や学校行事に積極的に取り組ませる。 ・探究の時間や担任との面談などで、進路情報を十分に提供し、生徒の進路決定の助けになるように支援する。	・学期毎の振り返りシートによる調査「部活動や学校行事に主体的に参加することができましたか。」の質問項目において、肯定的回答が90%以上を維持することを目指す。(2年3学期91.5%) ・学校改善アンケート「部活動、各種委員会活動、瀬戸高祭、球技大会など生徒会活動に積極的に取り組んでいますか。」の質問項目において肯定的評価が85%以上を維持することを目指す。(昨年度2年88.7%)						

③主体的に他者と関わり、健全で良好な人間関係を築き、その関係を基にした実践的なコミュニケーション能力の育成を行う。 (健康)	教務課	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等の外部交流につながる情報提供を随時行い、生徒が学校外とつながる機会を設ける。また多様な人々と積極的に交わる意識の高揚を促す。 授業や総合的な探究の時間、ボランティア活動等で生徒同士が協同し合いながら主体的に学び合うことで、充実感や満足感が得られるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業や総合的な探究の時間、ボランティア活動等で自ら学校外の人々と係わる機会を1人年2回以上もつ。 学校改善アンケート(生徒対象)の「瀬戸高校で学ぶことに充実感や満足感を持っていますか」の質問項目において、肯定的評価が85%以上(前年度81%)になる。 			
	生徒課	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶運動や日常生活の中で、気持ちの良い挨拶ができるようにする。 制服の正しい着こなし、基本的な生活習慣の確立、校内ルールや交通ルールの遵守ができるよう定期的に生徒向け情報発信をするとともに、教職員へ働きかける。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶はされたら返答する生徒が多い。制服の着崩しやスマホ使用違反での指導は、通年発生している。 <p>【達成基準】</p> <p>学校改善アンケート結果「あいさつ」の項目</p> <ul style="list-style-type: none"> = 生徒・教員75%以上、保護者50%以上(前年度生徒75%教員85%保護者53%) 「人権尊重」の項目 = 生徒・教員75%以上、保護者70%以上(前年度生徒86%教員85%保護者68%) 「生徒指導」の項目 = 生徒・教員75%以上、保護者70%以上(前年度生徒84%教員85%保護者84%) 			
	進路指導課	<ul style="list-style-type: none"> ひたぶるタイムがより協同的な取組となるように工夫し、クラス・学年、さらには学校外の人々と関わる機会をできるだけ多く設ける。 ひたぶるタイムの活動を生徒自らの「キャリアデザイン」の形成に繋げ、社会の一構成員としての自覚を持って行動できる力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1・2年次生は、年次を越えてまたは年次全体・クラス全体での発表の機会を年2回は設ける。 1年次生は外部講師を招いての講演会を学期に2回開催する。 2年次生は、S☆ラボの活動を通じて見出した研究課題をフィールドワーク等で深め、自身のキャリアデザインの形成に効果的に結びつけていく。 学校改善アンケート(生徒)における総探への積極度を90%以上にする。(一昨年度85%、昨年度85%) 			
	厚生課	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練を通じて、生徒の主体的な判断や安全意識の育成を図る。 悩みのある生徒・保護者への教育相談の充実を進める。 特別支援や通級指導の視点を踏まえ、一人一人の特性に応じた主体的な学びと生活力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練、防災授業を実施し、生徒自らが判断し危険を回避する能力を育てる。職員にも予測不能な災害に対応できる能力を積んでもらう。 外部の専門家(SC、SSW)などの活用と連携を持ち、生徒や保護者の内面的なケアに努める。 「生徒向けポータルサイト」や「保健便り」を通して情報等を発信し、健康維持の啓発に努める。 生徒情報の共有と全教職員で関わる意識にやや課題がある。 特別支援・通級指導のより良い在り方を検討し、協働しやすい運営体制の構築を図る。 			
	1年次	<ul style="list-style-type: none"> 自分からすすんで、気持ちのよい挨拶をする。感謝の気持ちを言葉にする。 先生や友人との対話を大切に、自分も他者も尊重することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期毎の振り返りシートによる調査「自分から気持ちのこもった挨拶をすることができましたか。」の質問項目において、肯定的回答が70%以上になることを目指す。 学校改善アンケート「登下校時や校内で、自分からすすんで積極的にあいさつをしていますか。」、「学校で先生や他の生徒を1人の人間として尊重していますか。」の質問項目において、肯定的回答が70%以上になることを目指す。 			
	2年次	<ul style="list-style-type: none"> 自分からすすんで気持ちのよい挨拶を行い、感謝や謝罪の気持ちを適切に言葉で伝えるように指導する。 日常のコミュニケーションを大切に、相手を意識した関わりができるよう指導し、良好な人間関係の構築を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期毎の振り返りシートによる調査「自分からすすんで、気持ちのよい挨拶をすることができましたか。」の質問項目において、肯定的回答が増加することを目指す。(1年3学期88.7%) 学校改善アンケート「登下校時や校内で、自分からすすんで積極的に挨拶をしていますか。」の質問項目において肯定的評価が80%以上を目指す。(1年時76%) 			
3年次	<ul style="list-style-type: none"> 自分から気持ちのよい挨拶をし、友人同士や先生との対話を大切にする。 他者を尊重し、思いやりのある行動をとらせる。さらに、自分自身にも肯定感がもてる集団の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期毎の振り返りシートによる調査「気持ちのよい挨拶をすることができましたか。」の質問項目において、肯定的回答が90%以上を維持することを目指す。(2年3学期97.2%) 学期毎の振り返りシートによる調査「お互いを尊重し、思いやりの心で人に接することができましたか。」の質問項目において、「1できた」と回答した生徒が全体の70%以上になることを目指す。(2年3学期65.3%) 学校改善アンケート「登下校時や校内で、自分からすすんで積極的にあいさつをしていますか。」、「学校で先生や他の生徒を1人の人間として尊重していますか。」の質問項目において、肯定的回答がそれぞれ75%、90%以上になることを目指す。(昨年度75%、86%) 				
いじめ対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育室、教育相談室などと連携をはかり、いじめの早期発見に努める。また人権教育講演会・非行防止教室などを通して、人権・いじめに対する問題意識を高めるとともに、DX推進室と連携し、情報通信機器の使用の際の人権意識を高める。 スタンドバイの活用と、各学期アンケートを実施する。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的に行われる個人面談や学期末の学校改善アンケートによって、何人かの生徒の困り感をキャッチすることができている。その度、組織対応を行っている。 <p>【達成基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の人権が守られ民主的な学校になっている。 スタンドバイや各学期のアンケート結果をもとに、早期発見し、年次団・生徒課・教育相談室などと連携し、すみやかに対応した。 				

④郷土・地域の将来を考え、周囲と連携しながら行動する力と社会変革の担い手としてイノベーションを起こし、エージェンシーを発揮する力の育成を図る。 (協調)	教務課	<ul style="list-style-type: none"> 昨年11月から始まった新しいホームページやSNSの運用により、オープンスクール、学校説明会、ホームページ等の広報活動を充実させ、瀬戸高校の魅力発信を強化する。 社会貢献活動・ボランティア活動に主体的に参加し、地域社会を担う一員としての自覚を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> Instagram投稿数を前年度以上にする。(前年度43回) 入学選抜において定員充足となる。 学校改善アンケート(生徒対象)の「社会貢献活動(ボランティア活動)・地域貢献活動に積極的に取り組んでいますか」の質問項目において肯定的評価が58%以上(前年度54%)になる。 			
	教育DX	<ul style="list-style-type: none"> AI共創型教育を推進し、地域課題を題材とした探究を実施する。生成AIやデータサイエンス、DXラボを活用し、大学・企業・地域と連携した学習や発表を行う。生徒が課題設定から分析、提案まで主体的に取り組み、協働と社会参画の力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度は生成AI活用探究や地域向けDX体験会、外部発表を実施した。令和8年度はDXラボによる制作体験、地域・大学等と連携した探究や発表、地域還元活動を継続的に行い、主体的に行動し提案できる力の育成を図る。 			
	1年次	<ul style="list-style-type: none"> 自分の頭で考え、自分の言葉で語り、自分の意志で行動できる生徒の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間を中心に、自分自身を見つめ直し各自で問いを立てて、解決のために行動し、知り得たことや思考を外化するというプロセスを、一層推進し、生徒自身が成長を自覚できるよう支援する。 「総合的な探究の時間【ひたぶるタイム】に積極的に取り組んでいますか」肯定的評価80%以上になる。 			
	2年次	<ul style="list-style-type: none"> 自分の頭で考え、自分の言葉で語り、自分の意志で行動する力を基盤とし、他者と協働しながら課題解決に取り組む力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間を中心に、自ら問いを立て、他者と協働しながら解決に向けて行動し、その過程で得られた知見や考えを言語化・発信するとともに、対話を通して深める一連のプロセスを推進し、生徒自身が成長を実感できるよう支援する。 学校改善アンケートの「総合的な探究の時間【ひたぶるタイム】に積極的に取り組んでいますか」の質問項目において、肯定的評価が80%以上になる。 			

3 年 次	<ul style="list-style-type: none"> 自分の頭で考え、自分の言葉で語り、自分の意志で行動し、そして、あるべき進路実現を目指すような生徒の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間や生徒との面談、個人指導などを通して、自分自身を見つめ直し各自で問いを立てて、解決のために行動し、知り得たことや思考を言語化することで、各生徒のあるべき進路実現ができるよう支援する。 「総合的な探究の時間【ひたぶるタイム】に積極的に取り組んでいますか」肯定的評価80%以上になる。 			
教 職 員	<ul style="list-style-type: none"> 教職員一人一人がワークライフバランスをとりながら、安心して業務を担い、学び合い、協働しながら教育活動の改善や向上に努め、生徒の成長を支援する。 教員間の対話や同僚性を重視し、well-beingな職場づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間外在校等時間はR7年度平均31時間。R6からの減少は無し。R8時間外在校等時間月80時間以上が年間を通して、無くなるように業務の平準化、効率化を図る。校務DX化を加速させることにより、業務時間の削減を図る。 各分掌における業務について、目的、意義や成果を確認しながら、業務改善を図るとともに、全体的に効率化を目指した組織づくりも研究していく。 			
事 務	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 修繕工事等を行うに当たっては、生徒・教職員の安全確保に努める。 校内美化意識向上のための「学校施設づくり」を推進する。 			